

学校職員用

フッ化物洗口実施後アンケート（案）

本市の子どもの永久歯のむし歯数は全国平均に比べて多い状況※にあります。

この状況をふまえ、本市では H24 年度から、むし歯予防に効果的なフッ化物洗口モデル事業を開始し、現在貴校でも取り組んでいただいているところです。

今後の事業のあり方について検討するため、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

※参考 H25 年度の 12 歳児（中学 1 年生）の一人当たりのむし歯平均本数
全国 1.05 本 熊本市 1.14 本（政令指定都市 20 都市中 17 位）

学校名 _____ 小学校

職名 （ 校長 教頭 クラス担任 養護教諭 その他）

1. フッ化物洗口モデル事業を開始する前と現在のお考えについてご記入ください。

(1) フッ化物洗口事業を開始する前、不安に感じていたことはありましたか？

ア)あった イ)なかった

「ア)あった」と回答された方にお尋ねします。その理由は何ですか？（複数回答可）

- ① 洗口剤の学校への持込みや保管方法
- ② 洗口剤の溶かし方
- ③ 洗口剤の分注（分け方）
- ④ 児童の洗口剤の誤飲
- ⑤ 保護者への対応
- ⑥ 教師の負担
- ⑦ その他

(_____)

(2) 現在も不安に感じていることはありますか？

ア)ある イ)ない

「ア)ある」と回答された方にお尋ねします。その理由は何ですか？（複数回答可）

- ① 洗口剤の学校への持込みや保管方法
- ② 洗口剤の溶かし方
- ③ 洗口剤の分注（分け方）
- ④ 児童の洗口剤の誤飲
- ⑤ 保護者への対応
- ⑥ 教師の負担
- ⑦ その他 (_____)

裏面のご記入もお願いします。

2. モデル事業を実施して効果があったと思われる点は何ですか？(複数回答可)

- ア) 児童のむし歯予防に対する(歯や口に対する)関心が高まった
- イ) 給食後の歯みがきを丁寧にするようになった
- ウ) 給食後の歯みがきをする児童が増えた
- エ) 保護者のむし歯予防に対する意識が高まった
- オ) 歯科医院を受診するようになった
- カ) むし歯が増えていない
- キ) その他()

3. モデル事業終了後も小学校でのフッ化物洗口を継続した方がよいと思いますか？(当てはまるもの一つに○を)

- ア) 継続するべき
- イ) 学校職員の負担が少ない方法であれば、継続してもよい
- ウ) 本来家庭で行なうべきものなので、学校で行なう必要はない
- エ) その他()

4. 熊本県内においては、今年度から8割の小中学校でフッ化物洗口を実施される予定です。熊本市内の小学校でフッ化物洗口を行うためには、どのような支援体制が必要だと思えますか？

ご協力ありがとうございました。